

平成20年消防出初式



▲出初式パレード

消防出初式挙行
 1月6日、小郡小学校のグラウンドで「平成20年消防出初式」が開催されました。出初式には、小郡市消防団のほか三井消防署や陸上自衛隊小郡駐屯地消防隊も参加し、多数の市民が見守るなか分列行進や機械器具点検のほか操法展示が行われました。また、三井消防署からは、江戸時代から続く「はしご乗り」の演技や「古式消防」の操法展示がありました。

式典終了後、陸上自衛隊小郡駐屯地音楽隊を先頭に、参加団体は小学校グラウンドから西鉄小郡駅まで市内パレードを実施しました。年頭の恒例行事に、沿道の市民らは足を止めて、規律正しい消防団員らの姿に、拍手を送っていました。



▲陸上自衛隊の展示訓練



▲三井消防署による古式消防の展示



▲陸上自衛隊音楽隊の演奏

小郡市消防団

各市町村には、消防署員と協力して消火や警防活動を行っている消防団員がいます。それぞれが自分の仕事を持ちながら、必要に応じて活動しています。

昭和23年3月7日に「消防組織法」が施行され、市町村による消防制度が確立しました。

小郡の消防組織は、昭和30年3月、1町4村の合併により小郡消防団として発足しました。

この時、全町を5区に分け、分団を配置し、昭和55年に大原、平成6年に東野の各分団が増強されました。

さらに平成9年には女性消防団員を採用し、現在では、川口大（かわぐちはじめ）団長以下229人の団員と司令車、広報車、資材搬送車、消防ポンプ車7台などで構成されています。

消防団では、住民の生命、財産を守るため、災害に備えて装備の充実強化はもとより、団員の技術、おのび資質の向上を目的に訓練を行っています。



▲女性消防団員の訓練風景

消防団員を募集しています

今後ますます複雑・多様化する災害に備えるため、消防団員の募集を行っています。

消防団年間行事（主要な行事）

- 4月 入退団式
- 5月 地域防災訓練（水防訓練）
- 7月 ポンプ操法大会
- 11月 秋の火災予防週間
- 12月 年末夜警
- 1月 消防出初式
- 3月 春の火災予防週間

全団員参加による教養訓練と水防訓練およびポンプ操法大会を毎年行い、機械運用などの習熟に努めています。

また、日常活動では、毎月2回の機械、施設の点検を行い、春と秋の火災予防週間では、模擬火災訓練などを行い、防火思想の普及と消防技術の修得に努めています。

さらには、広報誌の発行や女性団員による救急救命講習会などを通じて、市民への啓発活動にも取り組んでいます。これらの活動を通じて、消防長官表彰や全国消防操法大会準優勝などの数々の成績も収めています。

問い合わせ先

総務課 防災・庶務係 ☎72・2111
 内線 244・245